

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	農業水利改良	事業番号、事業名	49 県営かんがい排水			補助・単独別	補助	農政部農地整備課			
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		本年度末進捗率	進捗状況			
1	おいわけ 追分  〔小諸市・佐久市・軽井沢町・御代田町〕	用水路工L=4,130m				必要性 A	53%	計画どおり進んでいる。 H23は引き続き水路改修工事を実施する。	漏水により農作物生産性への影響が著しく、降雨時の災害防止としての管理費も増大していることから、早急な整備が必要である。	重要性、緊急性が高く、必要性も認められる。	「継続」
			用水路工L=760m	用水路工L=800m	用水路工L=1,530m	重要性 A	特記事項 特になし。				
		[工期:H20~H24]				効率性 B	B/C(費用対効果)=1.11				
		4億7600万円	1億円	7000万円	2億2600万円	緊急性 A	住民参加状況等 草刈りや土砂上げ等の維持管理は御影用水管理委員会が中心となり実施されている。				
2	かんがわさがん 神川左岸  〔上田市・東御市〕	用水路工L=2,770m				必要性 A	32%	計画どおり進んでいる。 H23は引き続き水路工事を実施する。	老朽化により施設の損傷が著しく施設補修費が増大しているほか、漏水が原因となる出水事故も近年多発していることから、早急な整備が必要である。	緊急性が高く、必要性、重要性も認められる。	「継続」
			用水路工L=320m	用水路工L=330m	用水路工L=1,440m	重要性 A	特記事項 特になし。				
		[工期:H21~H25]				効率性 B	B/C(費用対効果)=1.34				
		6億200万円	1億円	1億円	4億1200万円	緊急性 A	住民参加状況等 神川沿岸土地改良区が中心となり、水路の維持管理活動が積極的に行われている。				
3	いちのせせぎ 一ノ瀬汐  〔原村〕	用水路 L=1,064m				必要性 A	30%	計画どおり進んでいる。 H23はH22繰越工事を実施。	老朽化による施設の損傷が著しく施設補修費が増大しているほか、山間地であるため維持管理に多大な労力が必要となっているため早急な整備が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」
			用水路工L=330m	H22繰越工事を実施	用水路工L=734m	重要性 A	特記事項 特になし。				
		[工期:H22~H26]				効率性 A	B/C(費用対効果)=1.28				
		1億4800万円	4500万円	-円	1億300万円	緊急性 A	住民参加状況等 維持管理については、関係する一ノ瀬八区が適切に維持管理を行っている。				
4	にしつりゅう 西天竜  〔伊那市・辰野町・箕輪町・南箕輪村〕	用水路工L=518m サイホン補修工N=1式				必要性 A	31%	H23は引き続き水路工事を実施する。	老朽化による施設の損傷が著しく、施設補修費も増大していることから、早急な整備が必要であり、新たな出水事故に対する補修工事を追加して実施する必要がある。	新たな破管箇所に対する追加対策の必要性が認められる。	「拡大」
			用水路付帯工N=1式	用水路工L=350m	用水路工L=412m サイホン補修工N=1式	重要性 A	特記事項 H23計画変更 事業量:水路工L=4m増、サイホン補修工増 事業費:3億円増				
		[工期:H20~H24]				効率性 B	8号トンネル工法変更、3号サイホン出水事故発生による事業量、事業費増のため、計画変更を行う。 B/C(費用対効果)=1.03				
		6億4900万円	1億500万円	1億8100万円	4億4900万円	緊急性 A	住民参加状況等 小学生に用水路の目的や歴史等を紹介する農業用水探検隊事業を実施している他、維持管理作業は土地改良区が実施。				

分野	農業水利改良	事業番号、事業名	49 県営かんがい排水				補助・単独別	補助	農政部農地整備課						
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針				
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		本年度末進捗率	進捗状況							
5	はらみこう 春富3号  〔伊那市〕	用水路工L=2,498m	用水路工L=250m	用水路工L=350m	用水路工L=2,098m	必要性 A	41%	計画どおり進んでいる。 H23は引き続き水路工事を実施する。	老朽化により施設の 損傷が著しく、漏水に より周辺耕地が湿田 化するなど営農に支 障を来しているほか、 水路の施設補修費も 増大していることか ら、早急な整備が必要 である。	緊急性が高く、必要 性も認められる。	「継続」				
		[工期:H21~H25]				重要性 B						特記事項 特になし。			
		2億1800万円				6200万円						6000万円	1億2800万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=1.84
														緊急性 A	
6	いなせいぶ 伊那西部  〔伊那市・辰 野町・箕輪 町・南箕輪 村〕	揚水ポンプ制御設備 工 N=1式 〔工期:H22~H23〕	揚水ポンプ制御 設備工 N=1式	揚水ポンプ制御 設備工 N=1式	揚水ポンプ制御設 備工 N=1式	必要性 A	13%	計画どおり進んでいる。 H23に事業完了予定である。	地区の農業用施設の 中でも中核的な施設 で、故障した場合は地 域営農に壊滅的な影 響を及ぼす恐れがあ ることから、重要性、 緊急性が非常に高 い。H23年度事業完了 する。	平成23年度での完 了を図る。	「継続」				
		1億5000万円				2000万円						1930万8千円	1億3000万円	重要性 A	特記事項 特になし
														効率性 A	B/C(費用対効果)=1.21
														緊急性 A	
7	きたほたか 北穂高  〔安曇野市〕	沈砂池N=1箇所 用水路工L=1,060m 〔工期:H21~H24〕	沈砂池N=1箇所	用水路工L=600m	用水路工 L=1,060m	必要性 A	51%	計画どおり進んでいる。 H23年度は用水路工事に着手する。	用水路の断面不足 や取水口からの著し い土砂流入により、水 路内及び周辺の水田 に土砂が堆積し耕作 被害が発生している ことから、早急な整備 が必要である。	重要性が高く、必要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」				
		2億1200万円				1億円						5100万円	1億300万円	重要性 A	特記事項 特になし。
														効率性 A	B/C(費用対効果)=1.84
														緊急性 A	
8	かんざえもんせき 勘左衛門堰  〔安曇野市・ 松本市〕	頭首工補修 1箇所 放水ゲート 3箇所 〔工期:H22~H23〕	放水ゲート 3箇 所	頭首工補修 1箇 所	頭首工補修 1箇所	必要性 A	53%	計画どおり進んでいる。 H23に頭首工補修工事を実施し事業完了す る。	老朽化により放水 ゲート操作が不能とな り、溢水被害が発生 するなど水管理に支障 を来たしているため、本 整備が急務となってい る。平成23年度完了を 図る。	平成23年度での完 了を図る。	「継続」				
		3800万円				2000万円						1800万円	1800万円	重要性 A	特記事項 特になし。
														効率性 A	B/C(費用対効果)=1.21
														緊急性 B	

分野	農業水利改良		事業番号、事業名	49 県営かんがい排水			補助・単独別	補助	農政部農地整備課		
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		本年度末進捗率	進捗状況			
9	じっかせぎ 拾ヶ堰  〔松本市・安曇野市〕	用水路工L=395m 頭首工施設改修一式 〔工期：H22～H26〕	頭首工施設改修一式	頭首工施設改修一式	用水路工L=395m 頭首工施設改修一式	必要性 A	10%	計画どおり進んでいる。 H23は引き続き頭首工施設改修工事を実施する。	頭首工水管理システムや水路の老朽化により、維持管理費の増大や緊急時のゲート操作等の水管理に支障を来しているため、早急な改修が必要となっている	必要性、重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」
		6億2200万円	6480万円	1億円	5億5720万円	重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.21				
						緊急性 A	住民参加状況等 小学生を対象とした拾ヶ堰見学会を毎年実施している他、小学生による拾ヶ堰清掃が毎年実施されている。拾ヶ堰応援隊による支援活動。				
10	ばんこうじだい 善光寺平  〔長野市〕	用排水路工 L=1538m 頭首工補修 N=1基 〔工期：H13～H23〕	用排水路 L=29m 水路トンネル補修	頭首工補修 1基	頭首工補修 1基	必要性 A	72%	環境に配慮しながら工事を実施しており、やや遅れている。 H23は頭首工補修工事を実施し完了する。	頭首工の老朽化により取水が困難となっていると共に、本体の崩落による河川治水上の危険性も懸念されており、早急な整備が必要となっている。 H23年度事業完了する。	平成23年度での完了を図る。	「継続」 「再評価」
		6億2600万円	9000万円	1億8000万円	1億8000万円	重要性 A	特記事項 H22再評価「継続」				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=1.15				
						緊急性 A	住民参加状況等 草刈の維持管理作業に地域の中学生が参加 生態系保全活動に地域住民が参加				
11	ひたきはら 日滝原  〔須崎市〕	電動機補修 4基 水管理制御システム 1式 揚水管施設補修 1式 頭首工補修 1式 〔工期：H21～H26〕	電動機補修 3基 水管理制御システム 1式	電動機補修 1基 水管理制御システム 1式	電動機補修 1基 水管理制御システム 1式 揚水管施設補修 1式	必要性 A	62%	計画どおり進んでいる。 H23は電動機補修と水管理制御システム工事を実施する。	電動機や水管理システムの老朽化により、畑地への散水に支障を来しており、早急な改修・補修が急務となっている。	必要性、重要性が認められる。	「継続」
		3億3980万円	1億8000万円	7000万円	1億2980万円	重要性 A	特記事項 特になし				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=1.78				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし				
12	ろくかごう 六ヶ郷  〔千曲市・坂城町〕	用水路工 L=2,421m 〔工期：H22～H28〕	用水路工L=150m	用水路工L=370m	用水路工L=2,271m	必要性 A	12%	計画どおり進んでいる。 H23は引き続き水路工事を実施する。	用水路の老朽化が著しく漏水や維持管理費の増大が大きな課題となっており、早急な改修が必要。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」
		6億9300万円	8200万円	1億2000万円	6億1100万円	重要性 A	特記事項 特になし				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.90				
						緊急性 A	住民参加状況等 市、町、用水組合が参加して事業計画を策定しており、水路維持管理・水路の生き物調査も実施している。				

分野	農業水利改良	事業番号、事業名	49 県営かんがい排水				補助・単独別	補助	農政部農地整備課		
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		本年度末進捗率	進捗状況			
13	しもぎぎ 下堰  〔長野市〕	用水路工 L=600m 分水ゲート補修工 〔工期：H22～H25〕	分水ゲート補修工	用水路工L=260m	用水路工L=600m	必要性 A	40%	計画どおり進んでいる。 H23は水路工を実施する。	用水路や分水ゲートの老朽化が著しく、維持管理費の増や用水管理に支障を来しているため、早急な補修が必要となっている。	重要性が高く、必要性も認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.19				
			1億4820万円	6000万円	6000万円	8820万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			
14	きじま 木島  〔飯山市・木島平村〕	排水機場電気設備更新N=3箇所 除塵機更新N=2基 隧道補修N=307m 〔工期：H21～H25〕	除塵機更新N=[1]基 隧道補修N=307m	除塵機更新 N=[1]基	除塵機更新N=2基	必要性 A	73%	計画どおり進んでいる。 H23は引き続き除塵機補修工を実施する。	老朽化による排水機場のポンプ・除塵機・電気設備の故障頻発や水槽・隧道の亀裂、空洞化が進行しており、農地や宅地への湛水被害の未然防止を図るためにも早急な整備が必要である。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.52				
			3億200万円	1億3400万円	6500万円	8200万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。			
15	しものちちゅうぶ 下水内中部  〔飯山市〕	広域集中監視制御設備 N=1式 長峰幹線用水路トンネル部グラウト工 L=703m 付帯工N=1式 〔工期：H22～H24〕	広域集中監視制御設備 N=1式 長峰幹線用水路トンネル部グラウト工 L=600m	長峰幹線用水路トンネル部グラウト工 L=103m	長峰幹線用水路トンネル部グラウト工 L=103m 付帯工N=1式	必要性 A	84%	計画どおり進んでいる。 H23は引き続きトンネル補修工を実施する。	施設の老朽化による機能低下のため維持管理に多大な労力を費やしており、早急な更新整備が必要である。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.35				
			1億1000万円	9200万円	800万円	1800万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。			
合計	15箇所	53億3400万円	12億5480万円	11億230万8千円	32億3520万円		A: 配点の75%以上 B: 50%以上75%未満 C: 50%未満				